

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

蒲郡の民話⑫

「七福神おどり」(三谷町)

あなたは何分でわかりましたか？

- ・1分以内.....天才
- ・3分以内.....秀才
- ・5分以内.....普通

応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり11月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
蒲郡市役所企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

9月14日(月)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で5人の方にクオカードをプレゼントします。なお、賞品は11月初旬ごろ郵送します。

問題

上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてください。



「七福神おどり」

むかし、三谷村に弥平という貧しい漁師がおった。弥平はある朝、誰も怖がっていない外海で漁をし、たちまち船一杯の魚をとって帰ってきた。

ある日のこと、また今日も大漁じゃよって船を出した。急に大雨が降り出し、海は大しけになりたちまち船は壊されてしまった。弥平は海へ投げ出され、壊れた船の先にしがみついた。「わしを見捨てるな八剣の神」と叫んだが、とうとう気を失ってしまった。

弥平は気を失ったままどこか遠くの浜辺に打ち上げられた。辺りには見たことも無いような、髪の毛はちぢれ、赤銅色の顔をした人がいた。何を話しているか分からなかったが、手招きをして家へ招いてくれ、見知らぬ弥平にとっても親切にしてくれた。夕日が落ちると今度は力強いおどりを見せてくれた。弥平はすっかり踊りに見とれてしまった。そして弥平は次の日から見知らぬ国で養生した。

一月が過ぎ、弥平もすっかり元気になり船も村人の力を借りて元通りになり、いよいよ三谷へ帰ることになった。別れの夜、村中総出の踊りが始まり、今度は弥平も一緒に踊った。

三谷へ帰ってきた弥平は遠い見知らぬ国のことをみんなに話して聞かせた。話の途中であの踊りを踊った。見ていた漁師が弥平について踊りだし、いつの間にか三谷の漁師全部に広まった。

弥平は見知らぬ国の村人の顔がどこか七福神の顔に似ていると思い、七福神のお面をつけて踊りだした。こうして祭りには七福神のおどりが欠かせなくなったという。

7月号の答え

7月号クイズまちがいさがし(聖山のお皿さま)にたくさんのご応募ありがとうございました。応募総数は77通あり、正解者は61人でした。その中で抽選を行った結果、幸運な方は次の5人の方です。

当選者 敬称略・50音順

大塚町 小田智恵子
竹谷町 神納陽香理
豊岡町 高橋 晴夫
形原町 藤井理恵子
形原町 松藤 俊樹
おめでとございます。賞品は9月初旬に発送します。

